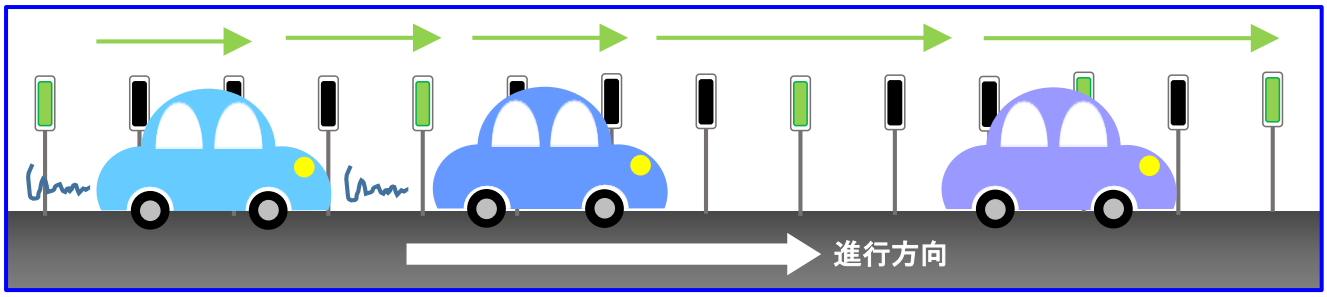
【別添 2】ドライブ・アシスト・ライトの概要

（1） ドライブ・アシスト・ライトの仕組み

今回、7 月 14 日に運用を開始した 3 車線（暫定）運用の手前にある、鈴鹿 IC 前後の約 4km 区間で LED ライトを用い複数のボトルネックに対応し視線誘導をする国内初の動的な渋滞対策「ドライブ・アシスト・ライト」の運用を開始しました。

この区間は複数のボトルネック（渋滞の先頭となる箇所）が存在します。ドライブ・アシスト・ライトはこの複数のボトルネックで起きる混雑状態や渋滞など交通の変化をキャッチし、それにあわせて LED ライトの光が流れるスピードを変化させる国内初の試みです。

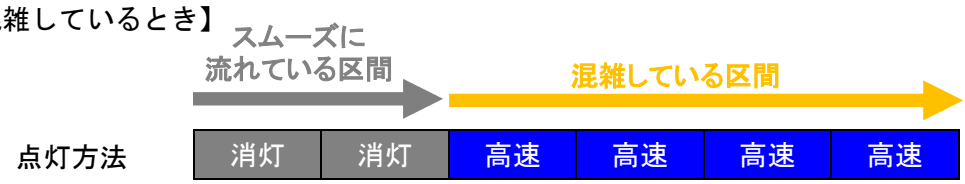
ドライブ・アシスト・ライトは、混雑状況に応じて光の速度が変化します。ドライバーはその光が流れるスピードに沿って走行していただくことで、スムーズに走行ができるようになります。その結果、その区間を走行している車両全体が一定の速度で走行することにより、速度低下の抑制や速度の回復を促すもので、一層の渋滞緩和が見込まれます。



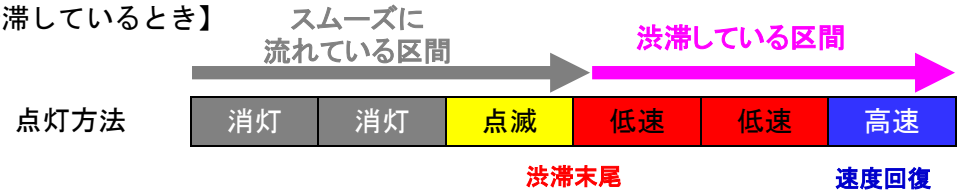
（2）点灯パターンの例

【例 1 スムーズに流れているとき】

【例 2 混雑しているとき】



【例 3 渋滞しているとき】



	点灯 （高速・中速・低速）	混雑している区間では速度を落とさず一定のスピードで走行していただくため、渋滞の先頭地点では、速度を早く回復していただくため、渋滞渦中では速度を一定に保っていただくためのサポートとして、高速～低速で点灯させます。
	点滅	渋滞末尾では、追突に注意していただくため、光を点滅させます。
	消灯	混雑していない区間では消灯しています。

（3 車線（暫定）運用後の交通状況）

（ドライブ・アシスト・ライトの点灯イメージ）